

「EC事業者の受注・出荷業務」 に関する実態調査

Presented by ECのミカタ × ロジレス



目次

• 調査背景	3	• ECのミカタ・ロジレスサービス紹介	26~32
• 調査条件	4	• ECのミカタ	27~29
• 回答者データ	5	• ロジレス	30~32
• 調査結果	6~24	• 補足資料「回答者データ詳細」	33~37
• 本調査でわかったこと	7~8		
• 物流代行	9~16		
• 受注管理システム	17~20		
• 倉庫管理システム	21~24		
• まとめ	25		

調査背景

年9%で成長を続けるEC市場は、今後も拡大を続けていくと考えられます。

EC市場が拡大を続ける一方で、「人手不足」などの課題も深刻化してきました。

EC事業者の負担を減らしつつ市場を拡大させていくためにも、EC市場に存在する課題を正しく把握し、適切に対応していくことが不可欠です。

今回の調査は、EC事業者の課題を明確化するために実施しました。

調査条件

調査名 : 「EC市場調査」

調査手法 : インターネット調査

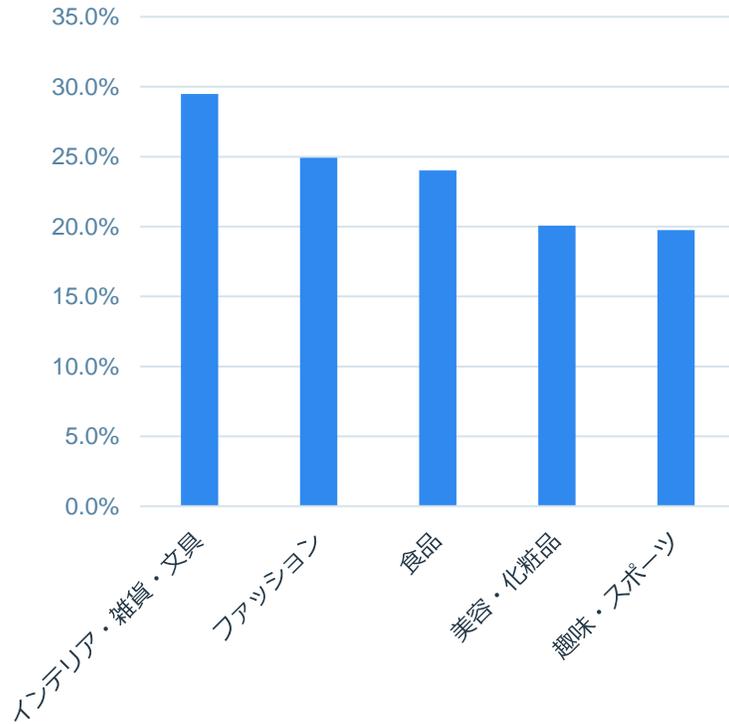
調査対象 : EC事業者

調査時期 : 2020年3月16日～4月15日

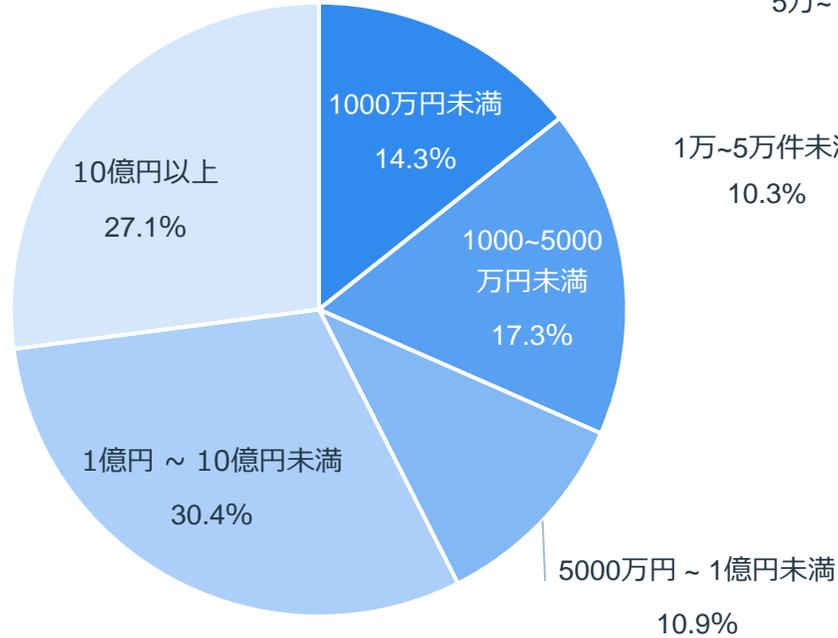
有効回答数 : 329件

回答者データ

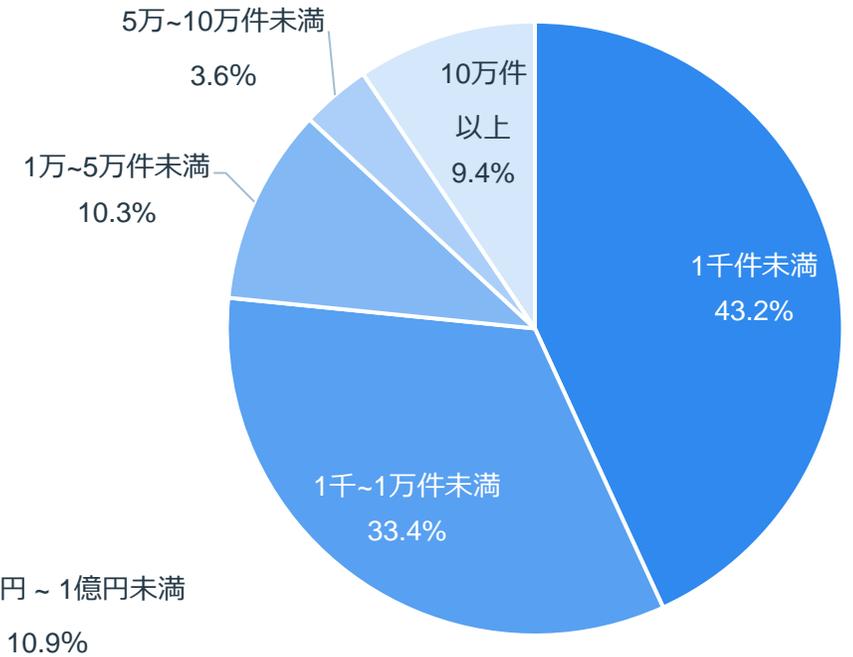
取り扱い商材



年商



出荷件数



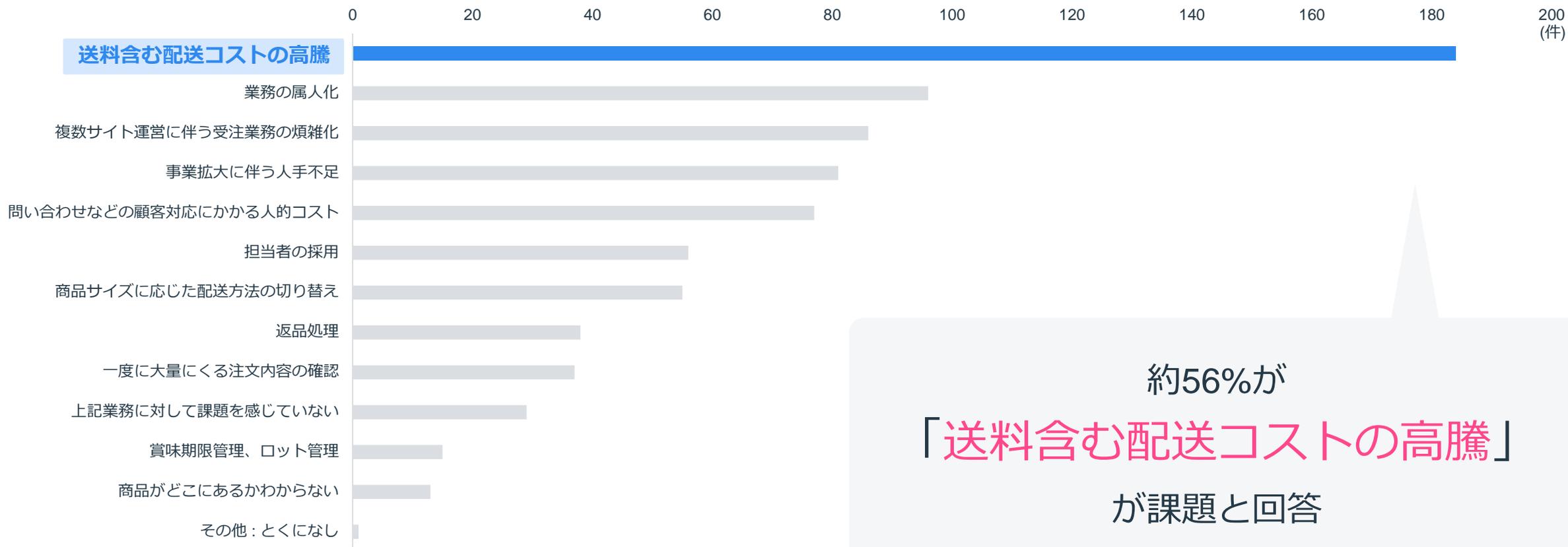
調査結果概要

本調査でわかったこと

- EC業務の最大の課題は「**配送コストの高騰**」
- 現在**物流代行**を利用中のネットショップは**37%**
 - メリットは「労働力を確保しなくてよくなること」
 - 課題は「柔軟な対応ができなくなること」
- 現在**受注管理システム(OMS)**を利用中のネットショップは**56%**
 - 選択の基準は「機能の充実性」
 - 課題は「機能の不十分さ」
- 現在**倉庫管理システム(WMS)**を利用中のネットショップは**30%**
 - 選択の基準は「利用料金の安さ」
 - 課題は「機能の不十分さ」

EC業務の最大の課題は「配送コストの高騰」

Q：現在貴社EC業務における課題がありましたら教えてください。



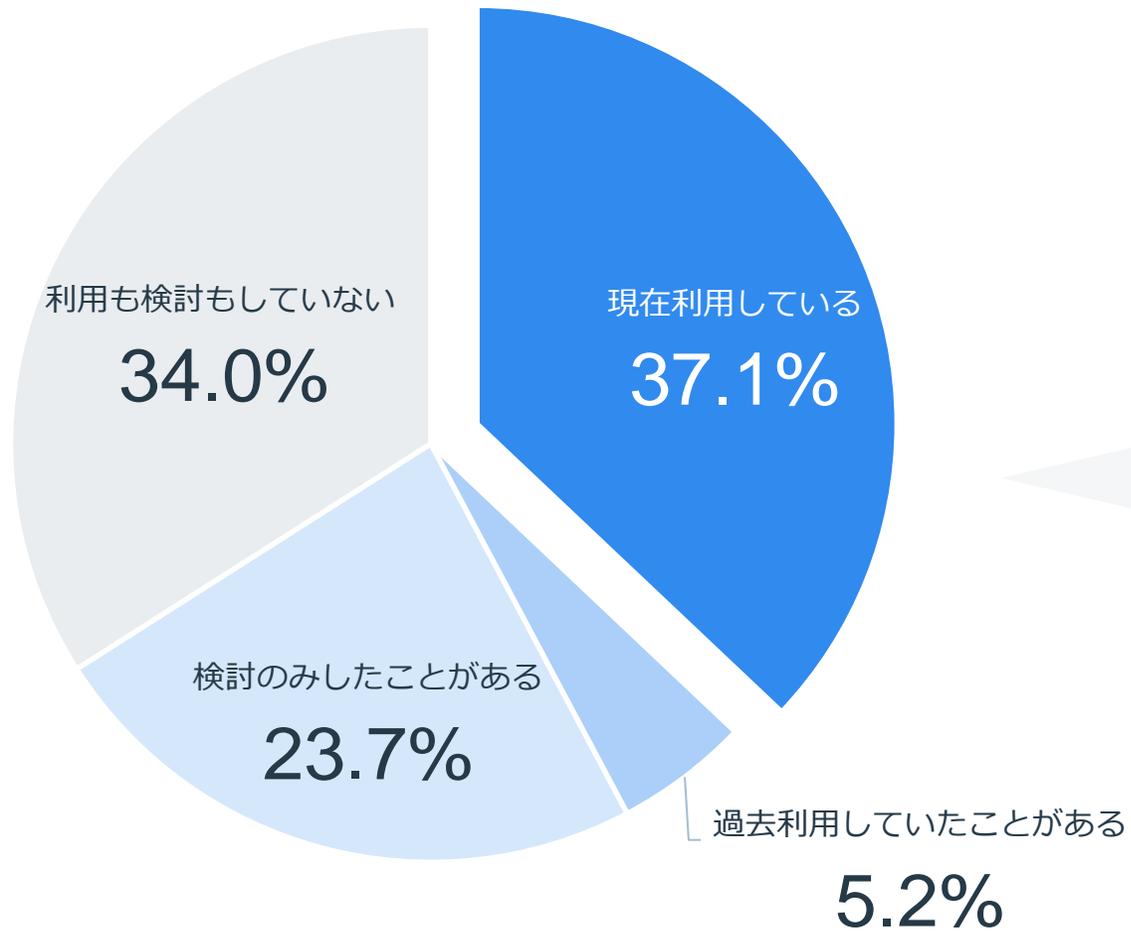
約56%が
「送料含む配送コストの高騰」
が課題と回答

物流代行について

「物流代行」の調査結果サマリー

- 現在物流代行を利用中のネットショップは、**約37%**。
- 物流代行を利用するメリットは「**労働力の確保がいらなくなる**こと」。
- 物流代行を利用したときの課題は「**柔軟な対応ができなくなる**こと」。

約37%のネットショップが物流代行を利用中

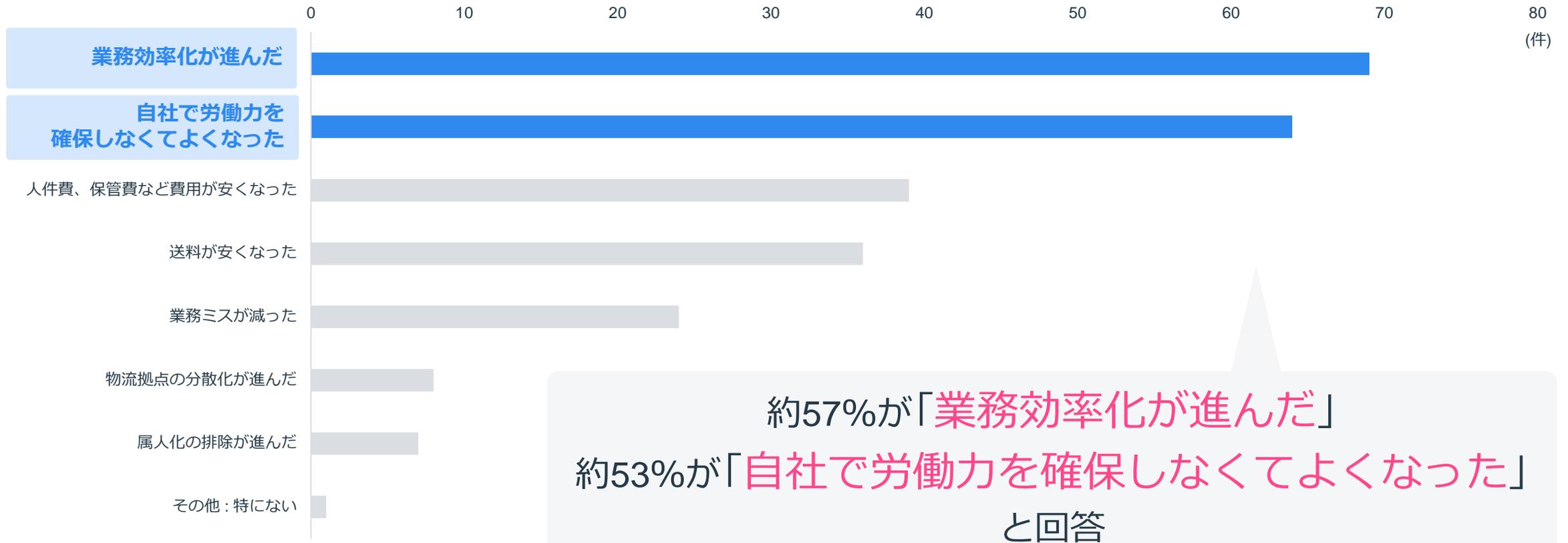


物流代行を利用中

37.1%

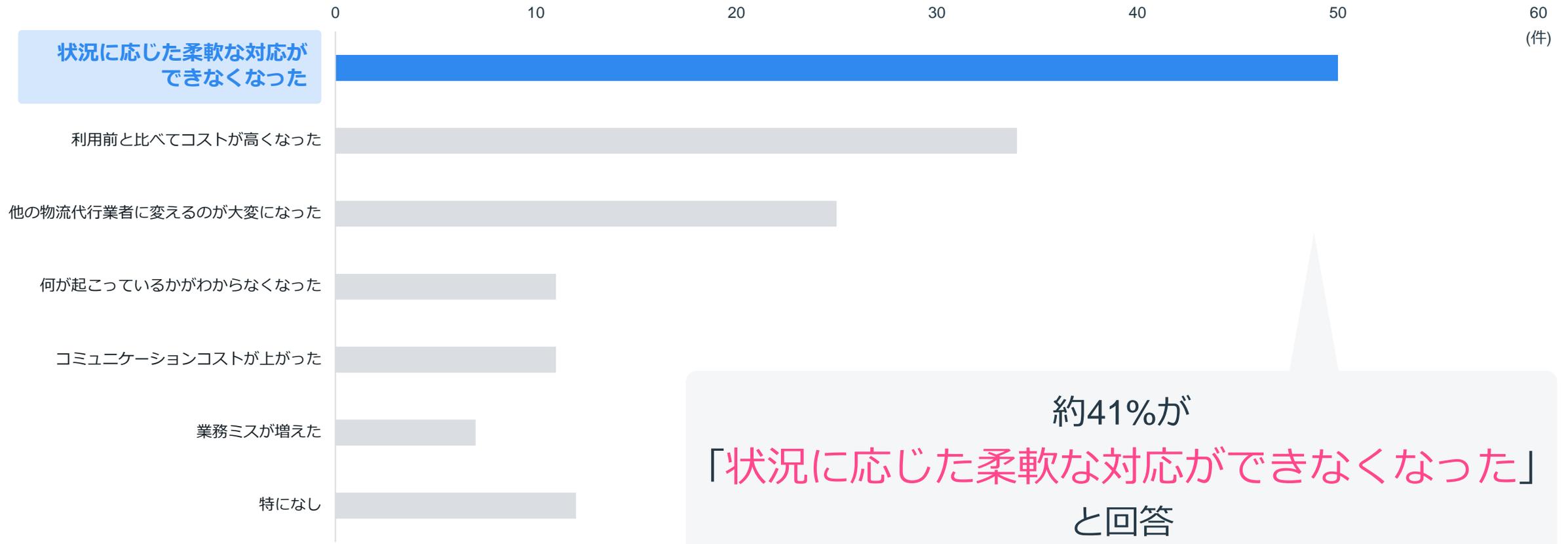
物流代行のメリットは「業務効率化が進み、労働力の確保がいらなくなる」

Q：物流代行を利用するメリットを教えてください。（対象者：現在物流代行を利用中）



物流代行に感じる課題は「柔軟な対応ができなくなった」

Q：物流代行に関する課題を教えてください。（対象者：現在物流代行を利用中）



物流代行に感じたメリットは「労働力の確保がいらなくなる」

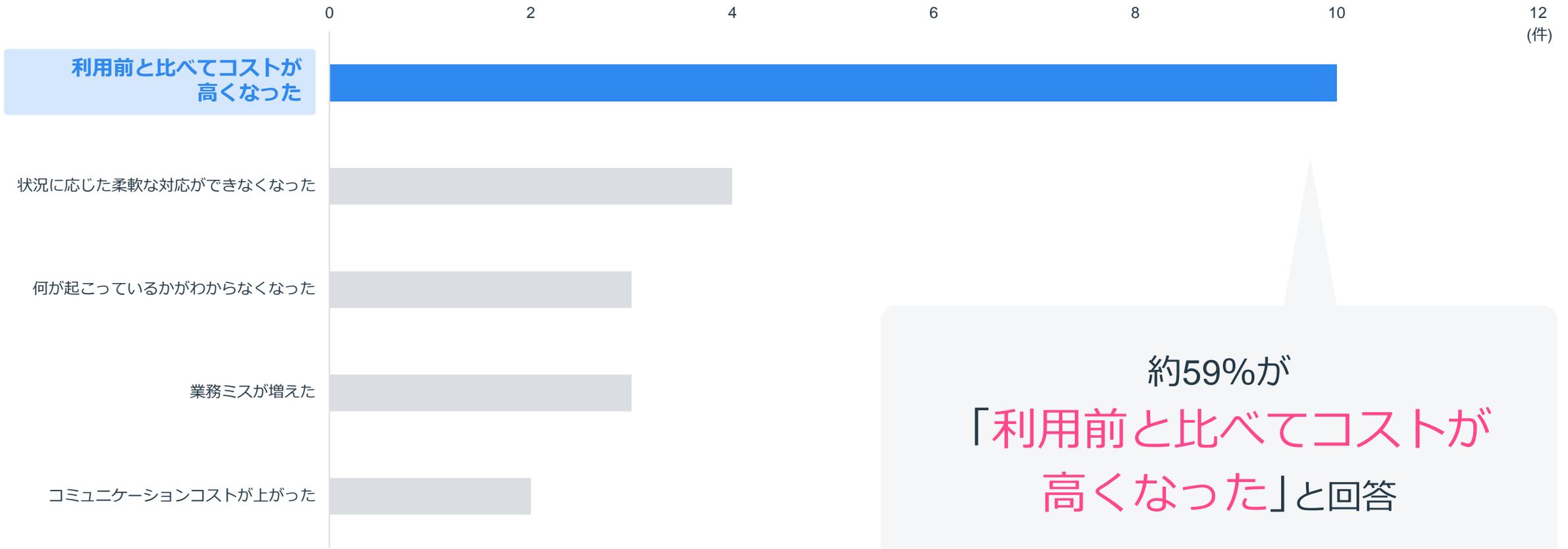
Q：物流代行を利用していた際に感じていたメリットを教えてください。（対象者：過去物流代行を利用）



約41%が
「自社で労働力を確保しなくて
よかった」と回答

物流代行をやめた理由は「コストが高くなった」から

Q：物流代行の利用をやめた理由を教えてください。（対象者：過去物流代行を利用）



物流代行に感じる魅力は「業務効率化が進みそう」

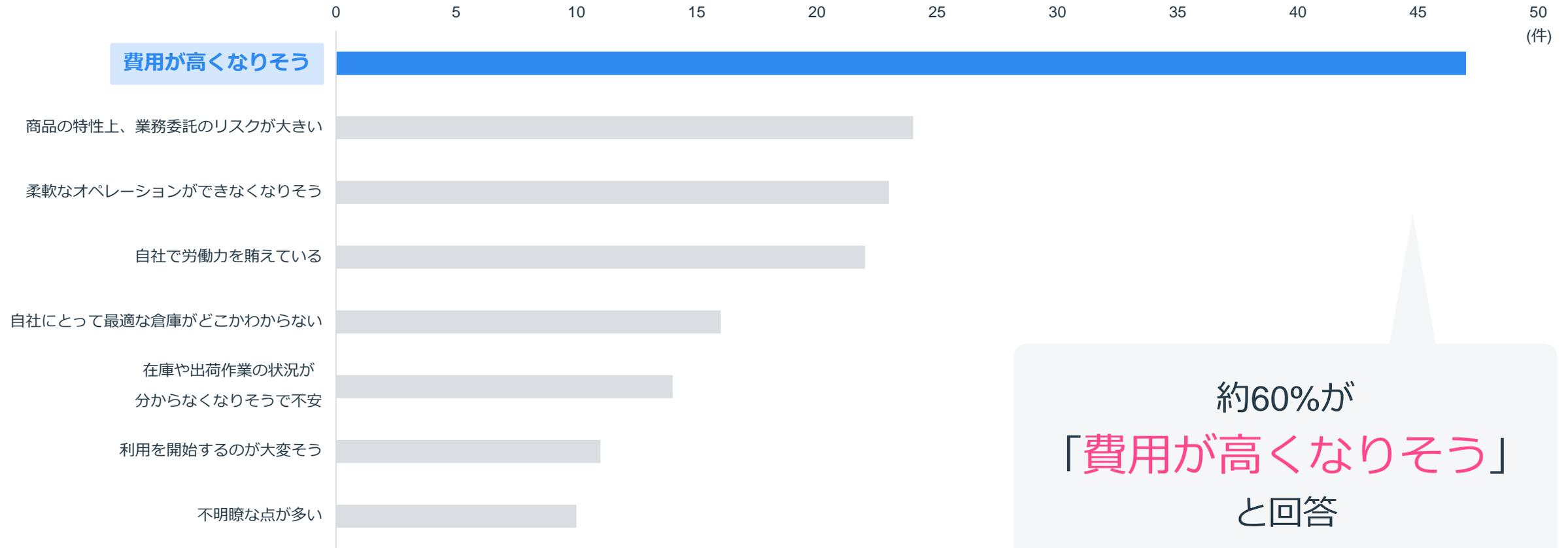
Q：物流代行を検討している理由を教えてください。（対象者：検討のみで利用なし）



約56%が
「業務効率化が進みそう」と回答

物流代行を利用しない理由は「費用が高くなりそう」だから

Q：現在物流代行を利用していない理由を教えてください。（対象者：検討のみで利用なし）



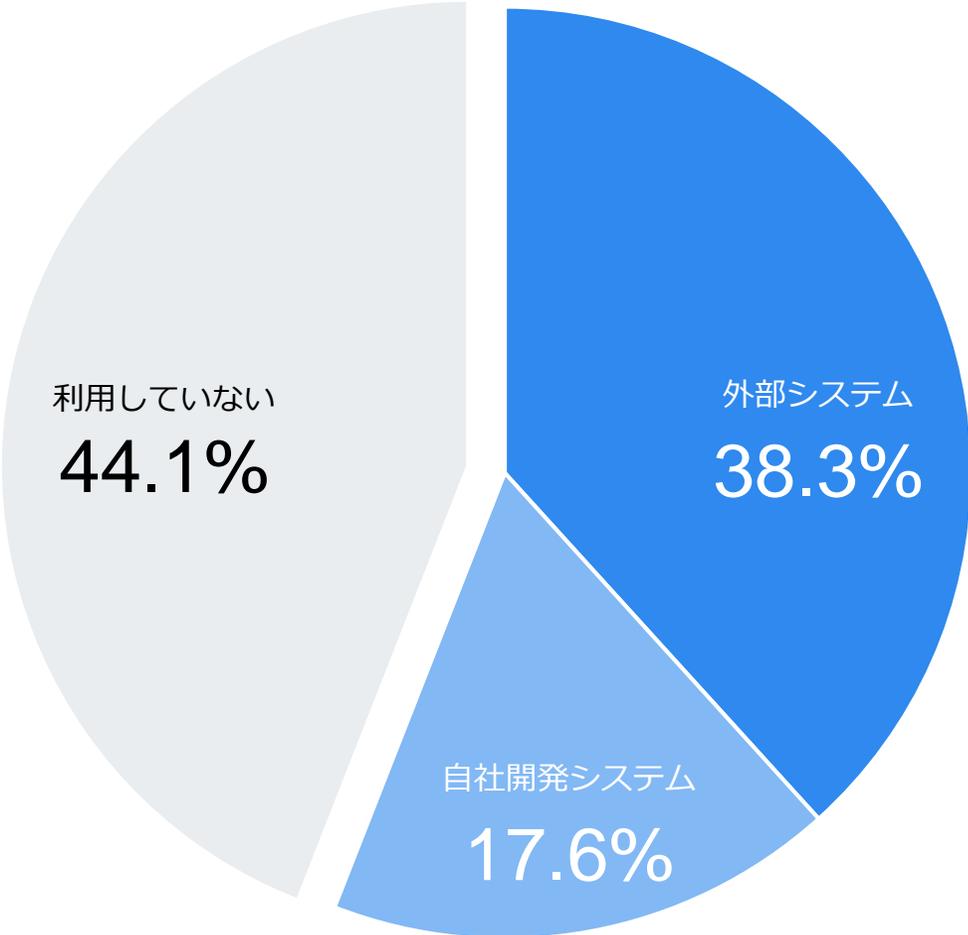
約60%が
「費用が高くなりそう」
と回答

受注管理システムについて

「受注管理システム」の調査結果サマリー

- 受注管理システムを利用しているネットショップは、**50%以上**。
- 受注管理システムを選ぶ基準は「**機能の充実性**」である。
- 受注管理システムに感じる不満も「**機能の不十分さ**」にある。

約56%のネットショップが受注管理システムを利用中

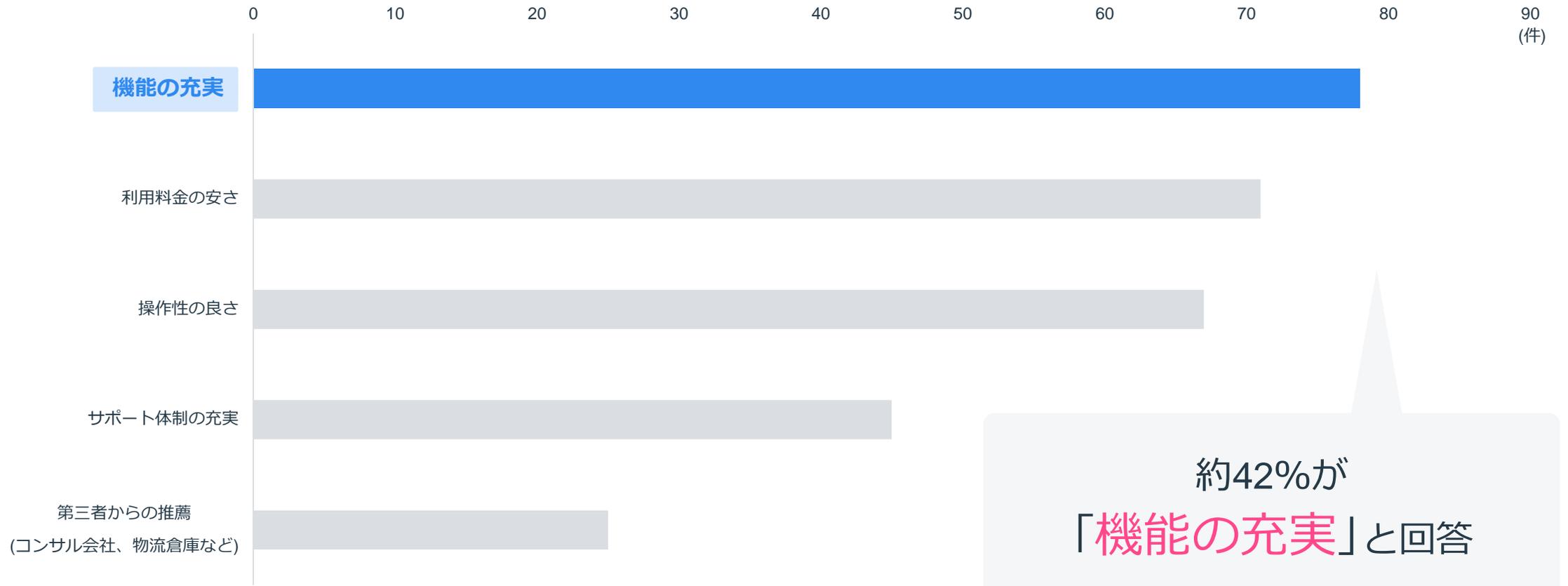


受注管理システムの利用率

55.9%

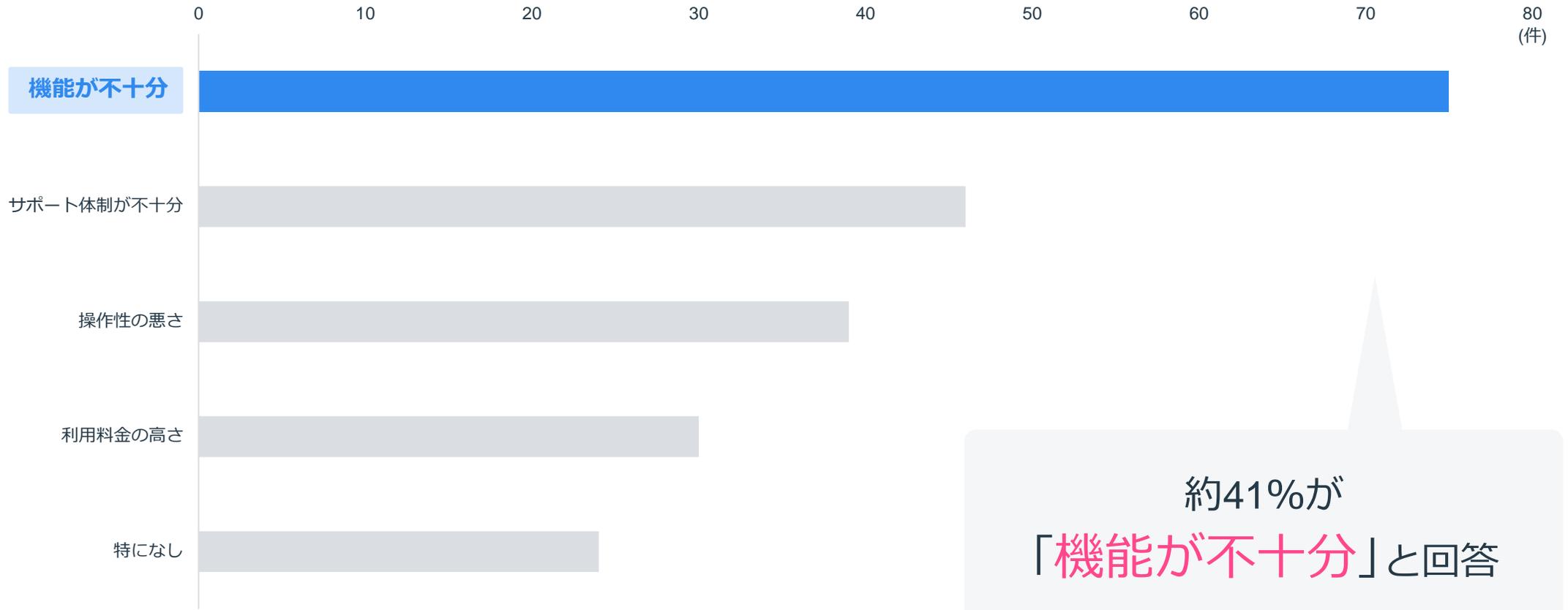
受注管理システムを選ぶ基準は「機能の充実性」

Q：現在導入しているOMSを選んだ理由を教えてください。（対象者：現在受注管理システムを利用中）



受注管理システムに感じる不満も「機能の不十分さ」

Q：現在導入しているOMSに感じている課題がありましたら教えてください。（対象者：現在受注管理システムを利用中）

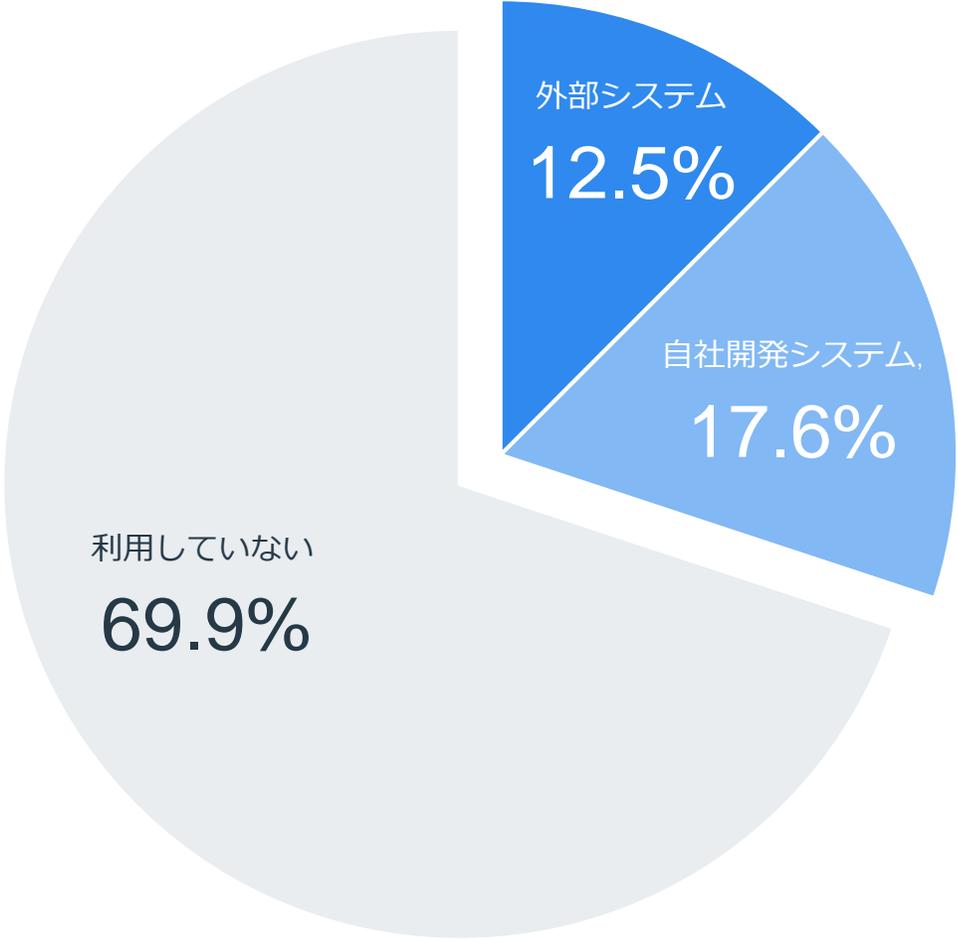


倉庫管理システムについて

「倉庫管理システム」の調査結果サマリー

- 倉庫管理システムを利用しているネットショップは、**約30%**。
- 倉庫管理システムを選ぶ基準は「**利用料金の安さ**」である。
- 倉庫管理システムに感じる不満は「**機能の不十分さ**」にある。

約30%のネットショップが倉庫管理システムを利用中

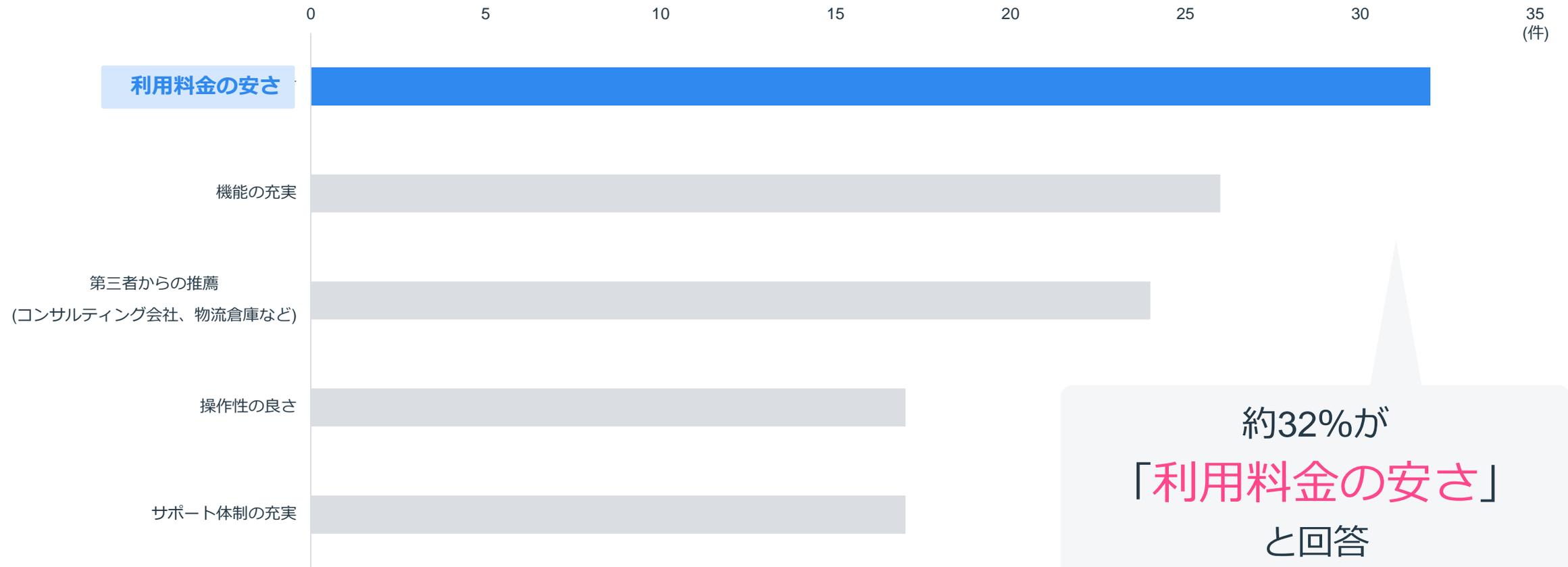


倉庫管理システムの利用率

30.1%

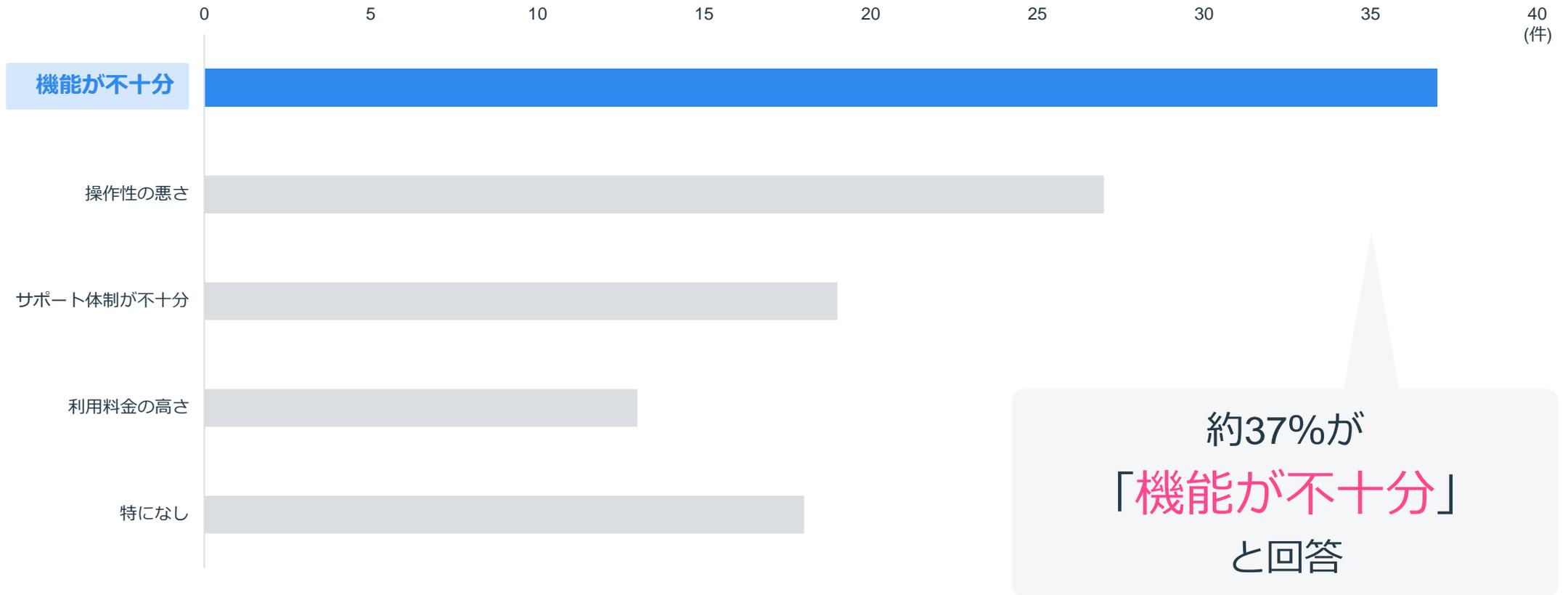
倉庫管理システムを選ぶ基準は「利用料金の安さ」

Q：現在導入しているWMSを選んだ理由を教えてください。（対象者：現在WMSを利用中）



倉庫管理システムに感じている課題は「機能が不十分」であること

Q：現在導入しているWMSに感じている課題がありましたら教えてください。（対象者：現在WMSを利用中）



まとめ

今回はネットショップの課題感を探るために市場調査を行いました。調査でわかったことは以下の通りです。

- 業務全般の課題として、半数以上のネットショップが「配送コストの高騰」を課題視。
- 物流代行は、「業務効率化が進む」「自社で労働力の確保が要らなくなる」点がメリットだが、「利用コストの上昇」が発生することも多い。
- 受注管理システムは、「機能の充実性」が重要だと言える。
- 倉庫管理システムは、選ぶ際「利用料金の安さ」が基準となるが、「機能が不十分」という課題も発生する。

今後、EC市場の拡大を促進させるためにも、今回明らかになった課題に適切に対処していく必要があると言えます。

EC業界専門メディアポータルサイト

ECメディア
MEDIA & YOUR CONCIERGE

ネットショップの業務をすべて自動化する
物流代行システム



LOGILESS

サービス紹介

EC業界専門メディアポータルサイト

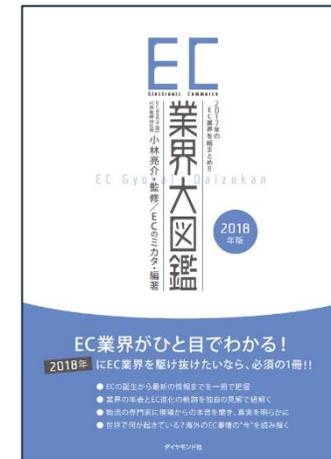
ECメディア
MEDIA & YOUR CONCIERGE

ECのミカタとは

EC・通販事業者向けの専門メディアです。
「WEB」「紙」「イベント」を通じて、情報を発信しています。



ECのミカタ
MEDIA & YOUR CONCIERGE



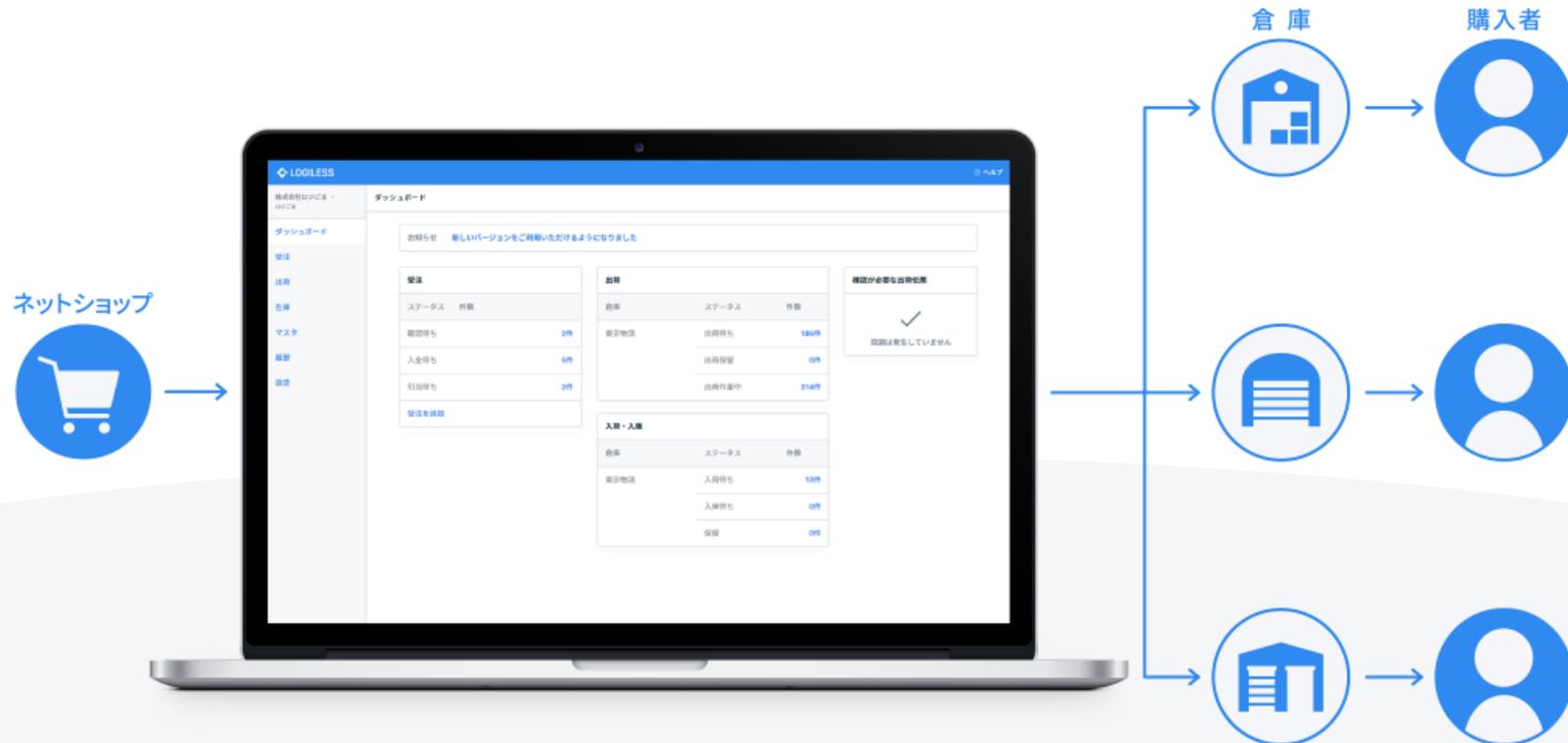
会社概要

社名	MIKATA株式会社
所在地	東京都渋谷区恵比寿西2-7-3 (JR山手線 恵比寿駅 徒歩5分)
設立	2007年9月20日
役員	代表取締役社長 小林 敬介
資本金	10,000,000円
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■メディア事業 ECに特化した情報メディアの企画・運営 「ECのミカタ」(WEBサイト) 「ECのミカタ通信」(紙媒体) 「EC業界大図鑑」(書籍) 「EC業界相関図」 ■ビジネスマッチング事業 ■人材紹介事業
従業員数	25名



物流代行システム「LOGILESS」の紹介

LOGILESSは受注業務・在庫管理・出荷業務を自動化するシステムです。
LOGILESSと物流倉庫を利用することで、**自動出荷が実現**します。



会社情報

会社概要

会社名： 株式会社ロジレス

代表者： 代表取締役 西川真央

事業内容： LOGILESSの企画・開発・運営・販売

設立： 2017年2月21日

資本金： 150万円（資本準備金等を含む累計調達額5,000万円）

所在地： 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-34-7
丸善大塚ビル 3F

実績

スタートアップコンテスト
「IVS LaunchPad」 「incubate camp 12th」
「B Dash Camp 2019 Fall」
に登壇



LOGILESSに興味がある方はこちら

 [お問い合わせフォーム](#)

LOGILESSが3分でわかる資料はこちら

 [ざっくりわかる概要資料](#)

